

涼-いよう-を求めて夏の森へ！

塩原温泉フィールド情報



2017/08/19号

撮影日：8月18日

場 所	フィールド状況・散策ポイント
<p>雄飛の滝線歩道 (スッカン沢) 八方ヶ原線歩道 (桜沢)</p> <p>《雄飛の滝線歩道、八方ヶ原線歩道は各歩道とも往復ルートで散策願います。》</p> <p>現在、雄飛の滝線歩道「大カツラ」過ぎ、通称「薙刀岩」先から、八方ヶ原線歩道分岐間は、歩道崩落箇所が有り通行止めとなっております。</p> <p>《安全な自然散策を心がけましょう！》</p> <p>足元が悪い箇所がございます。散策時の服装、靴などはきちんと整えて安全な自然策をお願いします。</p>	<p>涼を求めて、清流ながれる深山の森へ！夏の森と、渓谷が織りなすその渓谷美を是非、ご堪能ください。</p> <p>クサギ・タマアジサイ・ノリウツギの花々とマユミ(果実)が観察できます。</p> <p>モミジガサ・オクモミジハグマ・ヤマジノホトトギス・タマガワホトトギス・キバナアキギリ・ミヤマウズラ・カラマツソウ・ミヤマカラマツソウ・レンゲショウマ・ノブキ・カノツメソウ・クサアジサイ・ツリフネソウ・キツリフネ・オトコエシ・オオバショウマ・オヤマボクチ・ミツバフウロ・コバギボウシ・カメバヒキオコシ・ヌスビトハギ・ミズヒキ・キンミズヒキ・アキノギンリョウソウ・ミズタマソウ・イヌトウバナ・ダイコンソウ・イワタバコ・ウツボグサの山野草が観察できます。</p> <p>キブシ・エビガライチゴ・ユキザサ・ツクバネソウ・ルイヨウショウマの実や果実が観察できます。</p>

雄飛の滝線歩道



スッカン沢に架かるスッカン橋と大カツラ

スッカン沢と名瀑が作り上げる渓谷美！



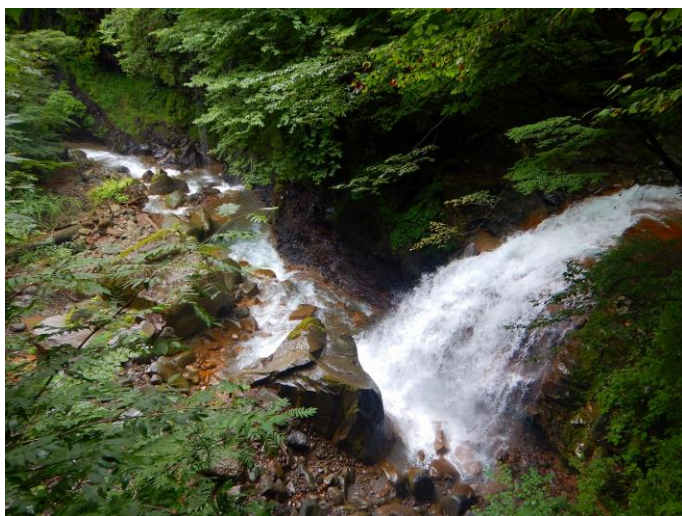
「薙刀岩」柱状節理群が作り出す渓谷美散策路から見上げる。

塩原温泉郷の森で過ごす「夏の森時間！」

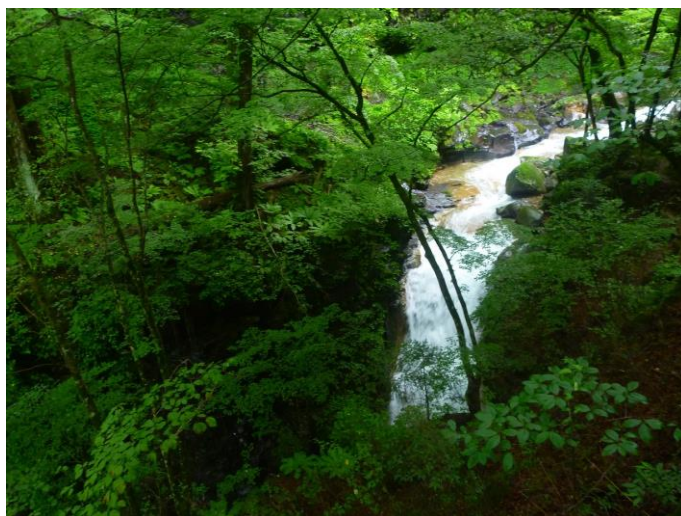
◆お問い合わせ 塩原温泉ビジターセンター TEL0287-32-3050

奥蘭田（おくらんでん）「塩溪紀勝（えんけいきしょう）」の世界を歩く！

「塩原三恩人」のひとり奥蘭田は明治23年（1890年）に、塩原の自然・温泉・地理・物産など様々な分野を探り、一冊の本「塩溪紀勝（えんけいきしょう）」にまとめ出版しました。これが世に出回った塩原温泉郷を紹介した最初の書籍であり、書籍の中で、この渓谷を詳細に記載し、絶賛しています。書籍の原文は漢文体で、この渓谷にある滝の名が難しい漢字を使用しているのはこのためです。

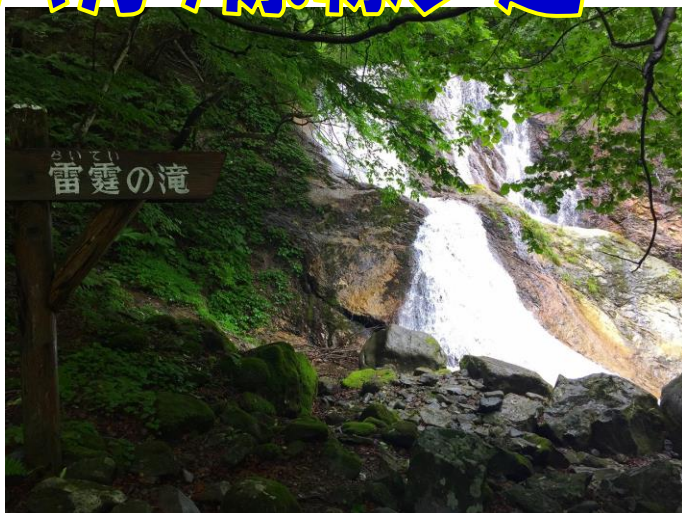


仁三郎の滝（舞姫滝）を散策路から見下ろす

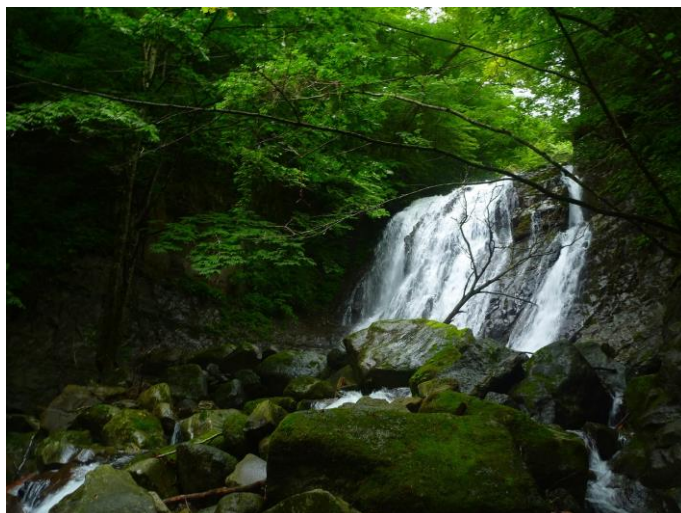


雄飛の滝を散策路観瀑台から見下ろす

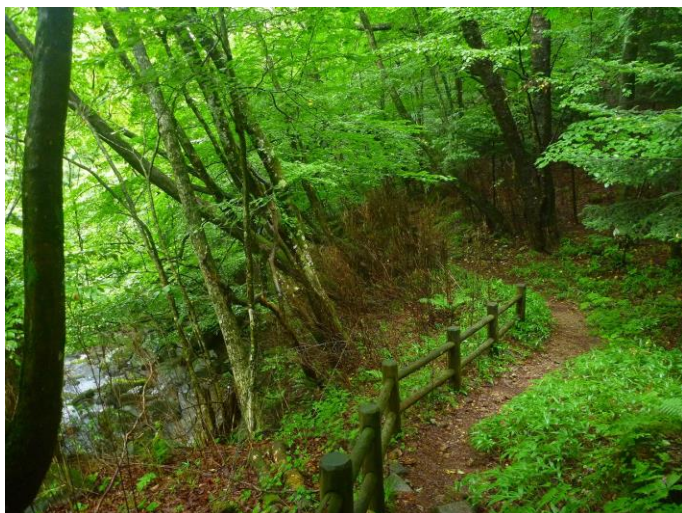
八方ヶ原線歩道 桜沢を目指して変化に富んだ森抜け、あの名瀑へ！



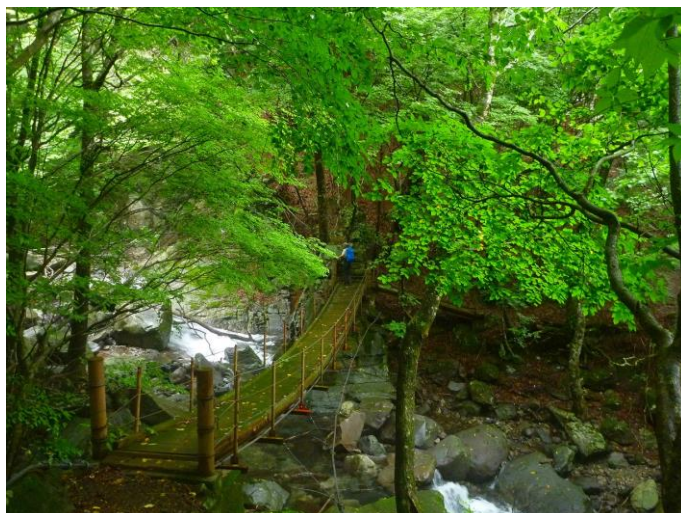
雷霆の滝（らいていのたき）



咆哮霹靂の滝（咆哮霹靂の滝）



変化に富んだ森を抜けると、いつの間にか、桜沢のせせらぎが聞えてきます。そう、あの名瀑（雷霆（らいてい）の滝）までもう少し！



「雷霆の吊橋」桜沢に架かるこの吊橋を渡り・・・次は、あの名瀑（咆哮霹靂（ほうこうへきれき）の滝）を目指して、遊歩道の森を進みます。

雄飛の滝線歩道・八方ヶ原線歩道 フィールドノート

清流流れる塩原の深山・・・
その溪谷を飾る夏の山野草を探してください！



クサギ



タマアジサイ



オトコエシ



オクモミジハグマ



毛ミジガサ



キツリフネ



キバナアキギリ



タマガワホトトギス



ヤマジノホトトギス



クサアジサイ



カノツメソウ



ミヤマウスラ



コバギボウシ



ノブキ



カメバヒキオコシ



エビガライチゴ(果実)



ツクバナソウ(果実)



ルイヨウショウマ(果実)